

第5回南部圏域の地域包括を考える会（なんケアの会）を開催しました

開催日時：平成28年10月7日（金）18:00～19:15

会場：南部市民センター なんびあ

参加人数：32名

メインテーマ：「生き生き」と暮らすために～一歩進んだ地域リハビリ～

サブテーマ：事例を基に、利用者の日常生活に着目した支援を考える



平成28年2月から開催しております「なんケアの会」は、今回で5回目を迎えました。今回も地域包括支援センター、介護支援事業所関係、医療機関関係者、調剤薬局等、計32名と地域の幅広い職種の方にご参加いただきました。

今回は、メインテーマ『「生き生き」と暮らすために～一歩進んだ地域リハビリ～』に沿って、「事例を基に、利用者の日常生活に着目した支援を考える」グループワークを行いました。

事例は、当院訪問リハビリ担当の佐藤貴子さんと、医療相談室の大坂谷知成さんから2例提供していただきました。症例1は、脳梗塞発症後、意欲低下や物忘れにより日常生活に促しや介助が必要になったケース、症例2は、脳出血発症後、片麻痺と失語症を呈し、退院後も在宅リハビリが必要になったケースです。6つのグループで、それぞれの症例のケアプランを作成しました。利用者やそのご家族の希望に沿ったプランについて、多職種による様々な視点から意見が飛び交う、大変有意義なグループワークとなりました。

今後も引き続き、地域連携の一環として地域の施設や在宅ケアに携わる方が気軽に参加でき、実践に役立つ研修会にできるよう尽力してまいりますので、ご指導ご支援頂きますようお願い致します。



会場の様子



参加者の皆様からの声

他事業所の方々と話す時間、機会を頂きました。とても参考になりました。

初めて参加させていただきました。大変勉強になりました。ありがとうございました。

事例をもとにグループ内で話し合うことができ、とても学ぶことが多い研修でした。今後の職場に活かしていきたいと思います。